「じんけん」ぽん

（2016.7/No147）

発行日　2016/7/12

社会福祉法人生活クラブ
柏市地域生活支援センター
あいネット
〒277-0004
柏市柏下65-1
ウェルネス柏内
電話: 04(7165)8707

目次

平成28年度 第1回あいネット運営委員会	1
「子どもの貧困とは？子供の居場所とは？学習支援はなぜ必要？」	2
平成28年度 第1回地域意見交換会	2
フードドライブお礼	2
就労準備支援室より	3
お知らせ	4

ひとこと

もうすぐ、暑い夏が到来しますね。
風鈴、すだれ、打ち水など、古くから伝わる納涼の方法を参考にしつつ、酷暑を乗り切りたいものです。

平成28年度 第1回あいネット運営委員会

6月１５日に平成２８年度 第１回あいネット運営委員会が開催されました。
今回の議題は、「医療と貧困について」。普段は委員として出席頂いている、柏市立柏病院ソーシャルワーカーの染野貴寛様からお話し頂きました。
以下、内容の抜粋です。

「医療と貧困について」
〇治療をする病院に求められていること
　後期高齢者への治療、支える医療への早急な転換
　1床のベットで効率的、より多くの患者さんを治療すること
　しかし、一方で、医療機関で志望する国民が全体の8割
　世帯員数は減、世帯数は増
　だからこそ、質を向上して効率も良くすることが求められています
〇退院に難渋する可能性の高い方
　一人暮らしの高齢者や、入院前と比べてADLが低下している方
　入退院を繰り返している方や介護を十分に提供される環境でない方等
〇社会・経済状態（失業・転居・社会孤立など）
　介在する因子（収入源・環境変化とストレスなど）
　健康状態（悪化・重症化）

〇医療と貧困に関わる事例（あいネット）
　健康保険料の未納、滞納があり保険証を持っていない方
　債務がある等、家計が苦しく医療費を捻出できない方
　金銭管理に課題があり、医療費まで回せない方
　根本的な問題に辿りつけない方。例えば、救急車を頻繁に呼んで受診を繰り返す人（アルコール問題が背景にあることも）

委員の方からは、
「医療費がかかるとき、貸付制度もあるが、条件によっては借りられない方も少なくない」
「病気を機に、生活保護を受け始める方が多い印象」
「高齢者の支援をする際、同居の家族が精神疾患を持っていたり、債務の問題を抱えている方を多くみる。今後も関係機関と連携し、家族全体を支えていけたらと思う」
「医療と社会保障について改めて考える機会になった。これらに関わる支援者は本人の意思決定支援を行うことが大切」
　など等、活発な意見交換がなされました。

感想：
困窮状態に陥ってしまう背景には様々な要因があります。なかでも健康面に悩みを抱えていて、通院している方、通院したくても経済面の問題からできていない方等は多くいらっしゃいます。あいネットの支援において医療機関、医療ソーシャルワーカーの方との連携はかかせません。今後も、協力して支援を行っていきたいと思います。

「子どもの貧困とは？子供の居場所とは？学習支援はなぜ必要？」

6月12日に東邦大学習志野キャンパスで開催された、子どもの貧困と学習支援の市民向け講座に参加しました。東邦大学教授の新保幸洋氏の基調講演とパネルディスカッションがありました。
基調講演では、貧困状況にある子ども数（0～17歳）は約326万人（2007年10月現在）、特に母子世帯の貧困率は66%（2004年版国民生活基礎調査）であるとの説明がありました。そういった状況の中で、貧困の連鎖を防止する為に「子どもの学習支援」の必要性が高まっているとの事でした。
パネルディスカッションでは、子どもの学習支援に取り組んでいる自治体や団体からの報告がありました。野田市で学習支援を実施している「野田市ステップアップセミナー」の土屋氏は「子どもの学習支援は単に勉強を教えるだけの場所ではなく、学校以外の居場所であり、学校を越えた子ども同士の関わりの場所」とおっしゃっていました。「夢や希望が持てる場、ここに来れば誰かがいる、誰かのために役にたてる、必要とされている事を実感できる」子供たちの居場所となり、貧困の連鎖を断ち切きりたいという熱い思いが伝わってきました。

最後に新保教授からは「子どもの学習支援において特別支援教育の機能をどう持つか」との問題提起がありました。通ってくる子どもの中には発達障害（疑い）の人もおり、そういった子どもに対していかに専門的な支援をしていけるのか、その人材（講師）をどう確保していくのかが今後の課題になるとの話もありました。
家庭や学校で居場所が無く、孤立している子どもを地域（友達や第三の大人）とどうつながっていくのかは大きなテーマであると感じています。子どもの学習支援は、どこにもうまくつながれない子どもの居場所となり得るのではないかと感じました。

平成28年度　第1回地域意見交換会

6月17日に障害者就業・生活支援センター　ビック・ハート主催で第1回地域意見交換会が行われました。内容としては、障害者就業・生活支援センター　ビック・ハート柏の事業報告、事業計画、松戸公共職業安定所より管内の雇用情勢と情報提供、情報交換等が行われました。
そのなかで、松戸公共職業安定所　雇用指導官　渡邊　新吾氏から『障害者雇用の現状と雇用の促進に向けて』のお話しがありました。ハローワーク松戸管内は、状況として障害者雇用率達成事業所の割合が千葉県内のハローワーク管轄内で最下位にあるとのことでした。ハローワーク松戸では、今後の取り組みとして平成28年度において障害者雇用数0人の事業所の解消が最大の課題となっており、障害者雇用数0人の事業所に対する雇用支援に重点を置いた取り組みを進めるとのことでした。
障害者雇用という言葉が色々な場所で聞かれるようになりました。当事者の方が将来自立して生活できるように、それぞれの立場の方々が役割を持って関わっていけるような社会になっていくのが大切だなと感じました。

第１３回フードドライブに ご協力ありがとうございました

フードバンク ちば

あいネットでは『88.1kg』のご寄付をいただきました。
食品をご寄付いただいた皆さまに、心より感謝申し上げます。
あいネットでは、引き続き食品の寄付の受付をおこなっています。
ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。
詳しくは、柏市地域生活支援センターあいネットへお問い合わせください。

柏市柏下65-1　ウェルネス柏3F
電話: 04（7165）8707　FAX: 04（7165）8709
電子メール:　ainet@kazenomura.jp

あいネット就労準備支援室より

7月

就労準備支援室からは、就労についての情報をお届け致します。講座にもぜひご参加ください。

免許・資格の書き方は？No.12-3

応募要件にそった資格とは…

多くの資格を取得している方は、資格のすべてを列挙するのではなく、応募企業や職種にあったものだけを抜粋して記入することで、履歴書の訴求力が高まります。また、記載順には古い順・アピール順がありますが、応募先企業の求人案件にマッチしたものから書いていくアピール順をおすすめします。
現在、資格取得のために勉強中の方は、「志望動機」や「自己PR（アピールポイント）」の欄に記載することで、意欲や好奇心の旺盛さをアピールできます。

こころを健康に保とう！　No.9

“デイケアプログラム”って？　その1

精神科病院や診療所などの医療機関で行われているものと保健所や精神保健福祉センターでも行われているものがあります。施設によって、対象となる人やプログラムの内容に違いがあります。統合失調症の方を対象に行っているところ、うつ病の方を対象に行っているところ、若い人だけを集めたところやお年寄りだけのところなど、疾患や年齢層を絞り込んでいます。休職中の人を対象に仕事に復帰するための「リワーク・プログラム」を持っているところもあります。
施設によって行っている内容が違うので、行く前に確かめてみましょう。

今月の講座案内

講座受講希望の方は日程調整いたします。ご連絡ください。

コミュニケーション講座
面接の模擬をしたり、気持ちが楽になるコミュニケーションの方法をお伝えします。
ワークを通してスキルを高めましょう！

キャリア講座
自分を振り返りながら、仕事についても考えてみましょう！

パソコン講座
Word・Excelを通してパソコンの基本的な操作を覚えられるようお手伝いします。
マンツーマンが基本ですので、ご自分のペースで練習する事ができます。

職場体験
ディサービス「あじさい」で高齢者が自立した生活ができるようお手伝いをします。
車で送迎します。昼食代500円頂きます。

この講座は、生活困窮者自立促進支援法に基づく支援を利用されている方に向けてのプログラムです。対象ではない方で利用希望の方は電話でご相談ください。

お知らせ

こちらのコーナーへ掲載希望の方はあいネットまで
（TEL：04-7165-8707　FAX：04-7165-8709）

公開講演会　高次脳機能障害のための行動支援

日時　：平成28年7月24日（日）　14:00～16:00
会場　：柏市中央公民館　5F講堂　柏市柏5-8-12　教育福祉会館内（柏駅東口から徒歩10分）
講師　：粳間　剛（うるま　ごう）先生　柏駅なかやまメンタルクリニック　高次脳機能障害専門外来　担当医
入場無料（事前予約は不要につき、直接会場へお越しください）
主催　：東葛菜の花「高次脳機能障害者と家族の会」
後援　：柏市・柏市社会福祉協議会

障がいを持つ子のための親の終活

障がいをもつ子ども親御さんは「親亡き後」について心配されている方が多くいます。特にお金の問題は重要です。今回は「親が障がいを持つ子にどんな形で資産を残せばいいのか」に焦点を当て、法律、ライフプラン、福祉現場のそれぞれの視点から講演会を開催します。

日時　：平成28年7月23日（土）　13:30～
会場　：野田総合福祉会館　3階　第3会議室
シンポジスト
○野田総合法律事務所　　弁護士　高山　聡宏氏
○柏市地域生活支援センターあいネット
ファイナンシャルプランナー　西村　貞男氏
○社会福祉法人野田芽吹会　芽吹学園
支援課長　増田　雅樹氏
コーディネーター
○野田市自閉症協会　　会長　大野　祐子氏
主催　：千葉県中核地域生活支援センター連絡協議会

◎お申込み・お問い合わせ先：中核地域生活支援センターのだネット
TEL：04-7127-5366　FAX：04-7127-5367

障がいを抱えた子の親のためのライフプラン講座

知っておくと得する情報　子の老後の安定を目指す安心財テク

日時　：平成28年7月23日（土）　17:00～19:00（受付開始　：16:30～）
会場　：オフィス・イン柏　柏市柏5-8-16-B
参加費：無料（事前申し込みが必要です。先着順20名まで）
講師　：一橋　香織さん
アフェリエイティッドファイナンシャルプランナー
相続診断士　上級終活カウンセラー
2級ファイナンシャルプランニング技能士（国家資格）

◎お申込み・お問い合わせ先：特定非営利活動法人ウィズ柏
地域活動支援センター　オフィス・イン柏
TEL：04-7100-8640　メール：w-kashiwa1@jcom.zaq.ne.jp